

1. 【開催案内】

日本学術会議主催学術フォーラム「循環経済の実現に向けたものづくりの役割」

2. 【開催案内】

公開シンポジウム「縮小社会における地域の持続可能性」

3. 【開催案内】

公開シンポジウム「社会学のアウトリーチ」

4. 【ご案内】

令和9年度共同主催国際会議の募集について

5. 【ご案内】

第25回グリーン・サステイナブル ケミストリー賞について

■ -----

1. 【開催案内】

日本学術会議主催学術フォーラム「循環経済の実現に向けたものづくりの役割」

----- ■

・日時：令和7(2025)年11月7日（金）13：00～17：35

・場所：日本学術会議講堂（オンライン配信）

・主催：日本学術会議

・開催趣旨：

持続可能な社会実現に向けて、循環経済実現の必要性が叫ばれており、国民的関心も高まっている。その実現のためには、資源を消費し、また将来廃棄物となる工業製品を作り出す製造業の構造転換が不可欠である。それは、資源の循環的な活用だけでなく、ものづくりベースのサービス提供産業への転換によって初めて成し遂げられる。同時に、消費者による受容、消費者との連携も必要不可欠な課題である。第三部機械工学委員会生産科学分科会では、循環経済に代表される持続可能社会実現に向けた製造業の在り方、消費者との連携を含む製造業が取るべきアクションについて議論してきた。これらの議論の結果を踏まえ、本フォーラムでは、このような製造業の構造転換の必要性、実現可能性、実現に向けた課題について、人文・社会科学、工学の視点から総合的に議論し、広く国民の意見を聴取し、双方向の対話を行うことを目的とする。

・次第：<https://www.scj.go.jp/ja/event/2025/382-s-1107.html>

・参加費：無料

・要・事前申し込み：以下の URL からお申し込みください。

<https://form.cao.go.jp/scj/opinion-0333.html>

・問い合わせ先：

日本学術会議事務局企画課学術フォーラム担当 電話：03-3403-6295

■-----

2. 【開催案内】

公開シンポジウム「縮小社会における地域の持続可能性」

-----■

【主催】日本学術会議地域研究委員会縮小社会の地域構想分科会、経済地理学会北東支部

【共催】北海道教育大学

【後援】東北地理学会、地理学連携機構

【日時】令和7(2025)年10月11日(土) 13:00～17:30

【場所】北海道教育大学函館校 1号館第1講義室 (北海道函館市八幡町1-2)
(ハイブリッド開催)

【参加費】無料

【定員】500人程度

【事前申し込み】不要

オンライン配信の URL や注意事項は決まり次第、経済学地理学会 Web サイトでお知らせします。

【開催趣旨】

現在の日本社会は人口の減少と東京一極集中という構造的課題を抱えている。民間有識者による人口戦略会議が2024年4月に公表した『令和6年・地方自治体「持続可能性」分析レポート』で、「消滅可能性自治体」と認定された全国744自治体のうち、37.9%(282自治体)が北海道・東北地方の自治体であった。その中には道南最大の都市である函館市や青森県の県庁所在地である青森市も含まれる。

本シンポジウム第1部は北海道、青森県で人口減少に起因する社会課題への対応に尽力している実務家による講演である。第2部では日本学術会議の会員、連携会員によって、学術的な視点から縮小社会の地域構想が提示される。

【プログラム】<https://www.scj.go.jp/ja/event/2025/387-s-1011.html>

【問い合わせ先】

庄子元（東北学院大学／北東支部代表幹事）

genshoji(a)mail.tohoku-gakuin.ac.jp ※(a)を@にしてお送りください

■-----

3. 【開催案内】

公開シンポジウム「社会学のアウトリーチ」

-----■

【主催】 日本学術会議社会学委員会課題解決のための社会理論分科会、一般社団法人日本社会学会

【日時】 令和7(2025)年11月16日(日) 14:00～17:00

【場所】 一橋大学国立キャンパス西キャンパス第1講義棟401（東京都国立市中2-1）

【参加費】 無料

【定員】 150人

【事前申込み】 不要

【開催趣旨】

近年、学術のアウトリーチ（研究成果の社会的還元・普及活動）や社会実装への関心が高まっている。社会学に関してもこれは例外ではなく、社会学の分析視角、理論、研究手法等を活かした研究成果が、現実社会のさまざまな課題・問題の理解や解決にどのように貢献し得るのかに、多くの関心が持たれるようになってきている。こうした状況を踏まえ、本シンポジウムでは、社会学がどのように現実社会と関わり、社会的な還元を果たし得るのかを、社会学とその視角に基づく貴重な実践を行っている方々の報告とディスカッションを通じて考えていくことを試みる。本シンポジウムを通じて、社会学のアウトリーチとその展開可能性について新たな理解が得られることを期待したい。

【プログラム】 <https://www.scj.go.jp/ja/event/2025/392-s-1116.html>

【問い合わせ先】

日本学術会議社会学委員会課題解決のための社会理論分科会幹事

メールアドレス： sarita(a)iss.u-tokyo.ac.jp ※(a)を@にしてお送りください

■-----

4. 【ご案内】

令和9年度共同主催国際会議の募集について

-----■

日本学術会議では昭和28年度以降、学術研究団体が国内で開催する国際会議

のうち、特に重要と認められる国際会議について共同主催を行うことにより、
学術研究団体への支援・協力を行っています。

この度、令和9年度に開催される国際会議を対象に、

【令和7(2025)年10月1日(水)～11月28日(金)まで】共同主催の募集を行います。

<募集概要(抜粋)>

1. 共同主催要件

- ・国際学術団体(母体団体)が、国際会議の日本開催を決定したものであること。
- ・関係分野に影響を与え学術の振興に寄与するものであること。
- ・開催期間中に市民公開講座など、会議の成果を一般市民に還元するプログラムを企画していること。

等

2. 申請手続き等

○申請書類受付期間：令和7(2025)年10月1日(水)～11月28日(金)[期限厳守]

○申請書類提出先(メール)：日本学術会議事務局 参事官(国際業務担当)付 国際会議担当 宛

E-mail：scj.kokusaikaigi.h5j(a)cao.go.jp

※(a)を@にしてお送りください

○書面審査を通過した会議に対しヒアリング審査を実施し、候補の選定を行います。

3. 共同主催が認められた国際会議に対して日本学術会議が措置する内容(予定)

○会議開会式における日本学術会議会長(又は副会長)の出席・主催者挨拶。

○会場借料(準備時間、控室等を除く)について、その一部を予算の範囲内で負担。

※募集概要・申請書等の詳細はこちらをご覧ください。

<https://www.scj.go.jp/ja/int/kaisai/entry.html>

【問い合わせ先】

日本学術会議事務局 参事官(国際業務担当)付国際会議担当

(TEL：03-3403-5731 Mail：scj.kokusaikaigi.h5j(a)cao.go.jp)

※(a)を@にしてお送りください

■-----

5. 【ご案内】

第25回グリーン・サステイナブル ケミストリー賞について

第25回グリーン・サステイナブル ケミストリー賞について、候補業績募集の案内がありましたのでお知らせいたします。応募資格に該当する皆様にご応募できる賞ですので、同賞にふさわしいと考えられる業績について応募をご希望の方は、以下のホームページから応募要領をご確認のうえ、直接ご応募をお願いいたします。

○グリーン・サステイナブル ケミストリー賞：

人と環境にやさしく、持続可能な社会の発展を支える化学であるグリーン・サステイナブル ケミストリーの推進に貢献した業績を顕彰する賞です。

応募〆切：令和7(2025)年11月21日(金) 17:00 厳守

https://www.jaci.or.jp/gscn/page_03.html

日本学術会議 YouTube チャンネル

https://www.youtube.com/channel/UCV49_ycWmnfhNV2jgePY4Cw

日本学術会議公式X

https://x.com/scj_info

日本学術会議ニュースメールは転載は自由ですので、関係団体の学術誌等への転載や関係団体の構成員への転送等をしていただき、より多くの方にお読みいただけるようにお取り計らいください。

過去のメールニュースは、日本学術会議ホームページに掲載しております。

<https://www.scj.go.jp/ja/other/news/index.html>

【本メールに関するお問い合わせ】

本メールは、配信専用のアドレスで配信されており返信できません。

本メールに関するお問い合わせは、下記の URL に連絡先の記載がありますので、そちらからお願いいたします。

発行：日本学術会議事務局 <https://www.scj.go.jp/>

〒106-8555 東京都港区六本木 7-22-34